使用上の注意

Fiery Color Profiler Suite、v5.9.1.39

本書には、このリリースに関する重要な情報が記載されています。インストールを進める前に、すべてのユーザーにこの情報を提供するようにしてください。

メモ：本書では、「Color Profiler Suite」という表記は Fiery Color Profiler Suite を指します。

Color Profiler Suite の以前のバージョン、ソフトウェアメンテナンスおよびサポート契約（SMSA）をご利用の場合、Fiery Software Manager から新しいバージョンが通知され、アップグレードすることができます。SMSA が期限切れの場合、通知はされませんが、Fiery Software Manager を (メインウィンドウの**ヘルプ** > **アップデート情報確認**を選択して) 実行し、SMSA を更新すると、アップグレードできます。

Fiery XF または Fiery proServer ユーザーが Fiery XF サーバー 7.0 以降、Color Profiler Option、有効な SMSA を使用している場合、ユーザーには Color Profiler Suite のアップデートまたはアップグレードを行う権限があります。使用可能なアップデートは、Fiery Software Manager または Fiery Command WorkStation のアプリおよびリソーススクリーンに表示されます。ユーザーは、Fiery XFSMSA 状況を Fiery XF のライセンスマネージャで確認できます。

本バージョンの新機能

Fiery Color Profiler Suite のこのバージョンには、新機能が導入されています。

バージョン 5.9.1.39 の新機能

- macOS Golden Gate 27 との互換性は確認済みですが、Fiery Color Profiler Suite v6.0 で正式なサポートが追加される予定です。
- Fiery Color Profiler Suite v5.9.1.38 のさまざまな問題が修正されました。

バージョン 5.9.1.38 の新機能

- Fiery XF v9.0.2 をサポートしています。
- Fiery Color Profiler Suite v5.9.1.35 のさまざまな問題が修正されました。

© 2026 Fiery, LLC.
2026 年 10 月 13 日

45273708

バージョン 5.9.1.35 の新機能

- Fiery Color Profiler Suite v5.9.1.32 のさまざまな問題が修正されました。

バージョン 5.9.1.32 の新機能

- Fiery XF v9.0 以降に接続されている場合、次の EPSON SureColor ハーフトーンプリンタードライバーをサポートしています。
  - EPSON SureColor SC-P9300 / 9330 / 9340 / 9360 / 9370 / 9380 ハーフトーン
  - EPSON SureColor SC-P7500 / 7530 / 7540 / 7560 / 7570 / 7580 ハーフトーン
- Fiery Color Profiler Suite v5.9.1.18 のさまざまな問題が修正されました。

バージョン 5.9.1.18 の新機能

- macOS Tahoe 26 で使用できます。
- Fiery Color Profiler Suite v5.9.1 のさまざまな問題が修正されました。

バージョン 5.9.1 の新機能

- Epson SD-10 ハンディ型分光測色器および EPSON SD-10 自動測色ポータブルテーブルをサポートしています。
- Calibrator のオプションの Full Width Array（FWA）測定器トレーニングをサポートしています。
- ターゲット許容値設定の結果の上にカーソルを合わせると、Fiery Verify でその結果の原因となったパッチがハイライトされます。
- Fiery Verify に **3D ビュー**アイコンが追加され、このアイコンをクリックするとサンプルまたは参照測定データの 3D モデルが Fiery Profile Inspector で開きます。
- パッチ測定モードでカラーを測定する際の Fiery Profile Inspector の光学濃度情報をサポートしています。なお、光学濃度の値はプライマリカラーのみについて確認することを目的としています。
- **Fiery Color Profiler Suite e ラーニング**オプションを**ヘルプ**メニューに追加し、Fiery Color Profiler Suitee ラーニングコースへのアクセスを改善しました。
- Fiery Color Profiler Suite v5.9.0.27 のさまざまな問題が修正されました。

ビデオはここからご覧ください。

Fiery アカウント

Fiery Software Manager からソフトウェアをダウンロードするには Fiery アカウントが必要です（Command WorkStation 7 へのアップグレードを含む）。ソフトウェアをインストールするときにアカウントは必要ありません。

詳細は https://solutions.fiery.com/Account を参照してください。

ソフトウェア要件

Fiery Color Profiler Suite のこのバージョンには新しいライセンスが必要です。現在、バージョン 5.x または 4.x を実行していて、ソフトウェアメンテナンスおよびサポート契約（SMSA）が最新の場合、Fiery Color Profiler Suite は Fiery ライセンスサーバーから最新のライセンスを自動的にダウンロードします。Fiery Color Profiler Suite SMSA を更新する場合は、Fiery 販売店に SMSA 更新パーツ番号「100000006105」を伝えてください。Fiery Color Profiler Suite 4.x の所有者は、バージョン 4.x から SMSA1 年分を含む 5.x の最新バージョンへのア

ップグレードを購入することもできます。その場合は、Fiery 販売店にパーツ番号 3000013448（デジタル配達）または 3000013280（物理的な配達）を伝えてください。

Fiery Command WorkStation、Fiery Command WorkStation 6.8 以降からの Fiery Color Profiler Suite 起動ポイントを推奨します（Fiery Command WorkStation 6.5 以降がサポート対象）。旧バージョン Fiery Command WorkStation の起動ポイントでは、Fiery Color Profiler Suite 5.9.1.39 モジュールは起動しません。

システム要件

Fiery Color Profiler Suite を実行するには、使用している Windows または Mac コンピューターが次の最低要件を満たしている必要があります。

メモ：Fiery Color Profiler Suite v5.9.1.39（CPS）は、Mac および Windows の両方のプラットフォームで 64 ビットネイティブ対応のアプリケーションです。CPS v5.9.1.39 では、32 ビットオペレーティングシステムはサポートされていません。Fiery Software Manager が 32 ビットオペレーティングシステム（Windows 7 32 ビットなど）ですでに実行されている場合、CPS v5.9.1.39 パッケージのアップデート通知は表示されません。32 ビットオペレーティングシステムに Fiery Software Manager をインストールしようとすると、互換性のエラーが表示され、インストールがキャンセルされます。

Windows	• Windows 11 • Windows 10 • Windows Server 2025 • Windows Server 2022
macOS	• macOS 27（Intel および Apple M シリーズのネイティブサポート） • macOS 26（Intel および Apple M シリーズのネイティブサポート） • macOS 15（Intel および Apple M シリーズのネイティブサポート） • macOS 14（Intel および Apple M シリーズのネイティブサポート） • macOS 13（Intel および Apple M シリーズのネイティブサポート）

設定	• 4GB の RAM（最小）と 8GB 以上の RAM が推奨
	• アプリケーションに使用できる 3GB の HDD の空き領域
	• 最小 CPU：
	  • Intel® Core™ i5 プロセッサー以上
	  • AMD Ryzen™5 プロセッサー以上
	• 次の推奨解像度で 16 ビットカラーをサポートするモニター：
	  • 最小解像度：
	  • Windows：1024x768
	  • macOS：1024x800

	• 最高解像度：
	  • Windows：2560x1600
	  • macOS：2560x1600
	• Fiery Verify モジュールには 1280x1024 のモニター解像度が必要
	• サウンドカード推奨
	• Fiery 分光測色計用の USB 2.0 ポート（電力供給対応）×1。他の測定器に必要な追加ポート
	メモ：Fiery 分光測色計は、ほとんどのキーボードの USB ポートまたは電力供給未対応の USB ハブに接続しても動作しません。Fiery 分光測色計と接続ケーブルは Fiery Color Profiler Suite に付属しています。

プリンター	すべての RGB、CMYK、CMYK+X のカラープリンター

5.9.1.39 の既知の問題

macOS Golden Gate 27 でメニューオプションから Command キーアイコンが表示されない

macOS Golden Gate 27 で Fiery Color Profiler Suite アプリケーションを使用している場合、次のヨーロッパ言語において、アプリケーションメニューに表示されるキーボードショートカットの組み合わせに、Command キーアイコンが表示されません。

- チェコ語
- フランス語
- イタリア語
- ポルトガル語
- スペイン語
- オランダ語
- ドイツ語
- ポーランド語
- ロシア語
- トルコ語

ただし、キーボードショートカットの組み合わせは引き続き機能します。

Fiery Command WorkStation のアップグレード時に測定器が見つからない

Fiery XF server では、Fiery Command WorkStation のアップグレード後に EFI ES-2000 または Fiery ES-3000 分光測色計に接続すると、クライアントコンピューター管理者にエラーメッセージが表示されることがあります。

これを回避するには、測定サービスを手動で再起動します。

1. **Windows+R** を押します。
2. **ファイル名を指定して実行**ウィンドウに「**services.msc** と入力します。
3. **Enter** キーを押して**サービス**ウィンドウを開きます。
4. **EFI 測定サービス**を右クリックします。
5. **再起動**を選択します。

Full Width Array が Fiery Printer Profiler から使用できない

Full Width Array (FWA) 測定器は、Fiery Printer Profiler を使用している場合、測定器リストから使用できません。回避策として、キャリブレーターの非カスタムトレーニングワークフローを使用します。

Fiery Color Profiler Suite と FieryMeasure を一度閉じた後に開かなくなる

Mac コンピュータで Fiery Color Profiler Suite または FieryMeasure を開き、アプリケーションが突然閉じた場合、アプリケーションを再度開こうとすると失敗します。

回避策として、ユーザーディレクトリに移動し、FM.username と cps.username (「username」は Mac コンピュータのユーザー名) を削除します。

Epson SD-10 測色器が Fiery Profile Editor で検出されない

Epson SD-10 測色器を Mac コンピュータに接続して Fiery Profile Editor を開くと、測定器リストから測定器を選択し、単一パッチ測定の**測定**をクリックしても、測色器が検出されません。

グレー最適化でデフォルトのジョブのプロパティが使用される

Windows コンピューターで、Fiery Optimizer の出荷時のデフォルト用紙プロファイルを使用してグレーを最適化しようとすると、Fiery サーバーで設定済みのデフォルトのジョブプロパティが使用され、検証が正しく完了しないことがあります。

これを回避するには、Fiery Verify Assistant を開き、**ジョブのプロパティプリセット**の横にある**編集**をクリックして、カスタムのジョブのプロパティを指定する必要があります。

G7+キャリブレーションワークフローが Fiery Printer Profiler や Fiery Print Matcher で使用できない

G7+キャリブレーションワークフローが、Fiery サーバーでサポートされていても、Fiery Printer Profiler や Fiery Print Matcher で使用できません。

これを回避するには、キャリブレーターを開き、同じ Fiery サーバーに接続します。そして G7+キャリブレーションワークフローを使用します。

G7+キャリブレーション測定器のサポート

G7+キャリブレーションワークフローでは、高速モードを使用する Konica Minolta IQ-501 および Konica Minolta IQ-601 はサポートされていません。

ただし Konica Minolta IQ-601 で高品質モードを使用している場合、G7+キャリブレーションワークフローで使用できます。

Konica Minolta IQ-501 は G7+ワークフローを使用する場合に使用可能

Konica Minolta IQ-501 に接続し、G7+ワークフローを使用して新しいキャリブレーションを作成すると、**計器**メニューに Konica Minolta IQ-501 が表示されることがあります。P2P75+パッチセットを選択して**印刷**をクリ

ックすると、ページが正常に印刷されたというメッセージが表示されますが、処理は完了していません。処理を終了するには、**キャンセル**をクリックする必要があります。

これを回避するには、計器メニューから別の測定器を選択し、G7+ワークフローを使用してキャリブレーションを作成します。

デルタ E および L*a*b*ベースの Fiery サーバーを Fiery Print Matcher に追加できない

デルタ E または L*a*b*ベースの Fiery サーバーを追加すると、Fiery Print Matcher がサポートされていないというエラーメッセージが表示されることがあります。

FieryMeasure ウィンドウが他の Fiery Color Profiler Suite ウィンドウの背後に開く

Windows コンピューターでは、別の Fiery Color Profiler Suite アプリケーションから FieryMeasure を開くと、ウィンドウが他のワークフローウィンドウの背後に開くことがあります。

平均測定変動と最大測定変動のデルタ E 値が、Fiery Color Profiler Suite v5.9.0.27 で Fiery Color Profiler Suite v5.7 よりも高くなっていました。

Fiery Color Profiler Suite v5.9.0.27 では、新しい動的 Fiery Edge プロファイリングチャートが導入されています。その結果、**測定された平均変動値**と**測定された最大変動値**が異なることがあります。これらの値は、プロファイリングチャート内の冗長パッチに基づいて計算されます。

最小のプロファイリングチャートレイアウトには冗長パッチが含まれないため、変動値は表示されません。ただし、中規模および大規模の動的プロファイリングチャートでは、以前のバージョンの Fiery Color Profiler Suite と比較して、より高い変動値が表示される場合があります。冗長パッチの数が大幅に増加しているため、これは必ずしもネガティブな指標ではありません。

その結果、より多くのパッチが互いに比較され、同一のパッチ比較が複数のチャートページにまたがる可能性があります。この機能強化により、プリンター、メディア、インクまたはトナーの組み合わせのカラー安定性に関するフィードバックが、Fiery Color Profiler Suite v5.7 以前よりも詳細に提供されます。

イーサネットケーブルを使用して測定器を接続できない

Fiery Advanced Controller Interface 環境内でイーサネットを使用して次の測定器を接続しようとすると、接続失敗というメッセージが表示されます。

- Konica Minolta FD-9
- Konica Minolta MYIRO-9
- EFI ES-6000（イーサネット）
- Barberi LEP qb
- Ricoh Auto Color Adjuster

回避策として、USB ケーブルを使用して測定器を接続することができます。

macOS Sonoma 14 で Fiery Profile Inspector がポイントを選択できないときがある

macOS Sonoma 14 を実行しているコンピューターで、IT8 ファイルまたは ICC 出力プロファイルの時に Fiery Profile Inspector でポイントを選択できないことがあります。

Xerox® EX-P 5 Print Server Powered by Fiery®バージョン 2.1 で、CMYK キャリブレーションセットとプロファイルを追加して作成できない

Xerox® EX-P 5 Print Server Powered by Fiery®バージョン 2.1 の**環境設定**で **CMYK+測定データから追加の CMYK キャリブレーションセットとプロファイルを作成**チェックボックスを選択して CMYK+プリンタープロファイルを作成しようとしても、追加の CMYK キャリブレーションセットとプロファイルが作成されません。

X-Rite iO 測定器を macOS に接続している場合

macOS Monterey 12.4 のコンピューターに接続されている場合、X-Rite i1iO/i1iO2 および i1iO3/i1iO3+は検出されません。この問題を回避するには、macOS Monterey 12.5 以降をインストールします。

G7 P2P25Xa パッチセットを測定すると、スキャンエラーが発生する可能性

Fiery Verify では、公式パッチレイアウトの最後のパッチを越える G7 P2P25Xa ストリップを測定すると、不完全なストリップスキャンエラーが表示されます。

モニターの解像度拡大縮小

モニター解像度を Windows システムで拡大縮小すると、 Fiery Color Profiler Suite にエラーが表示されます。

特殊文字を含むジョブ名

特殊文字を含むジョブ名は、Fiery Verify では読むことができません。

Konica Minolta MYIRO-1 および MYIRO-9 測定器を Apple MacBook Pro に接続している場合

Apple MacBook Pro（13 インチ、M1、2020）に USB（C タイプコネクター）で接続している場合、Konica Minolta MYIRO-1 および MYIRO-9 測定器は検出されません。

Techkon SpectroDens を使用してパッチを測定する

Techkon SpectroDens 測定器を使用してパッチレイアウトチャートを測定すると、両方向で測定された場合、降順の測定値が反映されます。チャートパッチは左から右方向にのみ測定することをお勧めします。

Fiery XF ワークフローでの Barberi Spectro パッドまたは LFP qb 検証ストリップの測定

Fiery XF ワークフローの検証ストリップで UI の接続設定を指定する条項が Fiery Verify にないため、Barberi Spectro パッドまたは LFP qb 検証ストリップをイーサネットまたは Wi-Fi 接続モードで測定することはできません。

テスト印刷フッター情報

Fiery Device Linker でのクライアントオペレーティングシステムの言語に関係なく、テスト印刷フッター情報が英語で表示されます。

X-Rite i1Pro3 Plus を使用してパッチを測定する

X-Rite ilPro3 Plus を使用して FieryMeasure で測定値を読み取り、コンピューターがスリープモードに入ると、測定を続行できなくなります。パッチを測定する前に、デスクトップコンピューターシステムでスリープモードを無効にすることをお勧めします。

測定器

キャリブレーション計器ウィンドウが応答停止する

Fiery Printer Profiler モジュールで **PDF で保存**オプションを選択し、ES-2000、ES-3000、X-Rite i1Pro 2 または X-Rite i1 Pro3 携帯型分光測色計に接続している場合、測定器のキャリブレーション中に**次へ**をクリックすると、ウィンドウが反応しなくなるときがあります。

（mac OS）ライセンス取得済みの計器で Color Profiler Suite がデモモードのままになる

Mac コンピューターでライセンス取得済みの測定器を接続した状態で、Color Profiler Suite を完全なライセンスモードで起動し、ライセンスがない別の測定器を接続したうえでライセンス取得済みの測定器を取り外すと、Color Profiler Suite がデモモードに入ります。その後、ライセンス取得済み測定器を接続し直しても、Color Profiler Suite はデモモードのままになります。完全なライセンスモードに戻るには、Color Profiler Suite を再起動する必要があります。

Fiery Printer Profiler

Fiery Printer Profiler でプロファイル作成時にブラック生成設定が適用されない

Fiery Printer Profiler でデフォルトのプロファイルプリセットから新しいカラープロファイルを作成すると、選択したプリセットのブラック生成設定が指定どおりに適用されないことがあります。

これを回避するには、Fiery Edge 設定を開き、カスタムブラック生成設定を確認して定義してから、カラープロファイルを作成します。

Barbieri Spectro LFP qb Color Tools の設定が共有されない

Fiery XF サーバーで Barbieri Spectro LFP qb 測定器を使用する場合、Color Tools ワークフローの設定は Fiery Color Profiler Suite の Fiery Printer Profiler モジュールと共有されません。

キャリブレーションマネージャーでの G7 濃度ベースのキャリブレーションターゲットの表示

Fiery Color Profiler Suite がインストールされてライセンスされている場合は、キャリブレーターで G7 キャリブレーションを作成することもできます。G7 キャリブレーションでは、G7 グレーバランスに到達するためにトランスファー曲線が Fiery サーバーのキャリブレーションターゲットに適用されます。キャリブレーションマネージャーは、G7 NPDC 補正曲線が適用されたキャリブレーションターゲットではなく、元のキャリブレーションターゲットを表示します。

iGen5 で作成された拡張色域プロファイルでアーチファクトが発生する

iGen5 で CMYK+O、CMYK+G または CMYK+B 色空間を作成し、不適切なアーチファクトが画像に見られる場合、PDF ワークフローで新しいプロファイルを作成し、Fiery Edge 最新エンジンを使用してください。

Fiery サーバーの接続

Fiery Printer Profiler が Fiery サーバーに対して印刷または保存を行っている途中で Fiery サーバーとの接続が遮断された場合、予期しない結果が生じる可能性があります。

新しいキャリブレーションセットとプロファイルの作成時に仮想プリンターを作成する

新しいキャリブレーションセットとプロファイルを作成する場合、仮想プリンターを作成するときに、プロファイル名に 2 バイト文字を含めることはできません。

追加情報

IDEAlliance ISO 12647-7 Control Wedge 2013 または Ugra/Fogra-MediaWedge V3.0a での測定

Fiery Verify で、パッチレイアウトチャートを EFI ES-1000、EFI ES-2000、Konica Minolta FD-5BT、EFI ES-3000 のいずれかを使用して測定する場合（**ルーラーなしで測定**オプションを選択）、IDEAlliance ISO 12647-7 Control Wedge 2013 または Ugra/Fogra-MediaWedge V3.0a 用紙ウェッジを左から右に測定する必要があります。用紙ウェッジを右から左に測定すると、緑色のチェックマークなしの赤色の警告メッセージが表示され、測定が正しく行われなかったことを知らせます。緑色のチェックマークの欠如と警告を無視することを選択すると、測定値が逆順で記録されます。